

地域を守る地域の力 三芳町消防団上位独占

消防団消防ポンプ操法大会

7月7日(日)、東消防署訓練場で消防団消防ポンプ操法大会が開催。富士見市・ふじみ野市・三芳町の消防団が出場し、日ごろの成果を競いました。三芳町からは4つの分団が出場し、優勝第2分団、準優勝第4分団、第3位第3分団、敢闘賞第1分団と上位を独占。地域を自ら守るという強い決意に満ちた瞳は、雨空の下でも輝いていました。



↑優勝した第2分団の表彰。出場した21の分団の頂点に輝きました。

↓調印式後には、役場職員向けのフォント研修も実施しました。



文字を通じて優しいまちづくり UD フォント活用協定調印式実施

7月3日(水)、読み書きが苦手な子(ディスレクシア)や弱視の人たちにも読みやすく見やすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを活用し、社会に優しいまちづくりを目指すため、フォントメーカーの(株)モリサワと三芳町が協定を締結。役場の申請書や通知書、教育現場などで活用を予定し「子どもたちの学力、住民サービス向上に繋げたい」と町長は意気込みを語りました。

↓表彰された県内15市町の首長らと上田知事の記念撮影。



埼玉県を健康長寿県に 健康長寿優秀市町村表彰式

7月11日(木)、知事公館で行われた健康長寿優秀市町村表彰式。三芳町は平成29年度まで3年間実施した健康長寿事業「みよし野菜 食べて！歩いて！健康長寿」のデータをもとに、介護予防事業と健康長寿事業を踏襲して「フレイル予防」に着目した取り組みが評価され、4年連続の表彰となりました。表彰式後は、知事と受賞市町の首長がそれぞれの取り組みについて意見を交わしました。



伝統農法を学び 親子で農業を体験

第1回親子農業塾

6月29日(土)、瀬島農園で日本農業遺産認定記念事業「親子農業塾」が開催され、小雨の降る中、31人の親子が参加しました。講師の瀬島さんから土づくりの大切さやさつまいもの品種、管理方法等を学んだ後、実際に畑に出てさつまいもの苗差しを体験。子どもからは土のやわらかさに驚きの声が上がりました。伝統農法を肌で感じていました。



↑役場7階の農業遺産展示・紹介スペースで行われた開校式の様子。

↓実際に車人形に触れて体験。上手に手を動かすことができました。



車人形を見て・触れて体験 竹間沢車人形体験教室

6月30日(日)、中央図書館で行われた「見てみよう!やってみよう!車人形」教室。子どもから大人まで41人が集まりました。始めに披露されたのは竹間沢車人形保存会による「かぐや姫」の演目。小さな舞台ながら、会場は迫力のある世界観に包まれました。実演の後の体験タイムでは、参加者が実際に操り方を体験しました。思い通りに動かすことができると大きな拍手が上がりました。参加者からも笑顔がこぼれました。

↓時間が過ぎるのを忘れてしまうような素敵な演奏の連続でした。



サクソフォンとドラムで魅了 ちくまざわマンズスリースクウェア

6月21日(金)に竹間沢公民館で開催されたマンズスリースクウェアは、プロフェッショナル吹奏楽団「プラス・エグゼード・トウキョウ」のサクソフォンカルテットと三芳町在住ドラマー阿部拓也氏によるスペシャルコンサート。180人を超える観客で会場は超満員。観る人を魅了するプロの演奏とユーモアたっぷりのトークに、訪れた人は「もう最高!」と興奮した様子で声援を送っていました。